

令和4年度 第2回名取市地域包括支援センター運営協議会 会議概要録

- 日時 令和4年11月30日(水) 午後2時～午後3時10分
- 会場 名取市役所 6階第2会議室
- 出席者 出席委員 尾形会長、大橋副会長、中鉢委員、藤委員、森委員、田端委員
(欠席委員：土手内委員、千田委員)
地域包括支援センター 東：佐藤所長、南：宮地所長、西：桃野副所長、
中部：北條所長
事務局 小畑部長、中山課長、松浦課長補佐、高橋主幹兼係長、山崎技術
主幹、相澤技術主査、桑嶋主事

○ 傍聴者 なし

○ 会議概要記録

1 開 会

2 挨拶 尾形 会長

3 議 事

報告事項

(1) 令和4年度地域包括支援センター事業中間報告について(事務局より説明)

※4(1)通いの場について、4(2)地域ケア会議の開催状況は、一部包括より説明
(質疑)

委 員：1 高齢者人口、相談者及び方法について。相談者数および方法については、民生委員の電話・訪問件数が地区ごとにばらつきがある。民生委員のスキルにばらつきがあるのではないか。高齢者の困りごとがあれば、専門職がいる地域包括支援センターに紹介する流れができていない地区もあるのではないか。包括支援センターから民生委員へのはたらきかけが少ないのではないか。介護予防について民生委員と話をした際に話が噛み合わなかった。なぜ、相談件数のばらつきがあるのか、考えられる背景や問題は何か。

事務局：各地域包括支援センターでは、民生委員の定例会に顔出しをして情報共有を行っている。民生委員との連携はできていると思われる。

西包括：3か月に1度、2箇所を訪問している。顔は覚えてもらっているつもりだが、相談になかなかつながらない。12月に改選となった民生委員と包括との顔合わせの機会を作るつもりである。

委員：中部の相談件数が多いが。

中部包括：増田西地区の民生委員の相談が9割を占める。こども食堂の参加者に民生委員が必ずおり、毎月顔合わせをするが、特別なことはしていない。要因として1つ考えられることは、包括の立地である。隣の敷地にスーパーマーケットがあり、買い物ついでに立ち寄る民生委員がいる。

委員：包括支援センターが3か所と4か所では、数値はどのように変わったか。改善されたこと・課題はどのようなところか。表からだと読み取れない。

事務局：2関わりのある高齢者数については、昨年度とあまり変化なし。距離が遠かった包括支援センターが近くなったことで、より身近な存在となった。南地域包括と西地域包括の広大な圏域が分割されたことで、地域包括支援センターごとに高齢者1人1人の支援に避ける時間が増えた。相談件数は、コロナ禍の不安が落ち着いてきたのか、多かった頃と比べるといくらか落ち着いている傾向がある。

委員：地域ケア会議は、包括支援センターが民生委員や町内会役員等、決まった人員で構成される印象がある。また、防災等、別団体（防災組織）が課題解決の枠割を担っている課題について地域ケア会議で協議している。高齢者・子ども関わらず、地域全体で課題を話し合い、包括支援センターで持っているデータを活用しつつ、優先順位をつけて地域課題解決のリーダーシップを包括がとってほしい。

事務局：会議の議題が最優先の内容ではない場合があるかもしれないが、地域の特色に合わせて会議の方針が決められ、協議が行われている。

南包括：会議の構成員については、民生委員、町内会長、老人クラブ会長、一般住民に声かけを行っている。ただし、開催日時の都合で全員参加とならない場合がある。

委員：6生活支援体制整備事業について、生活支援コーディネーター活動の実態と活動の課題について伺いたい。

西包括：通いの場等へ訪問した件数が訪問の件数。活動の中でなされた相談のうち、地域資源の情報提供ができた件数がマッチングの件数。

南包括：通いの場、サロン、自費サービス、配食サービスの情報提供を行っている。

委員：地域の中で見えにくい課題を見つけ出して発信してほしい。地域資源を発掘して広めるのは、コーディネーターの本来の役割ではないのではないかと感じてしまう。

事務局：コーディネーターの活動内容は、市から委託している内容のものであるので、間違っているとは言えない。生活支援体制整備事業は息の長い事業で、現在は地域資源を把握してどのように広めていくか、という段階である

と考える。広まった地域資源がどのように使われるか、使っても補いきれない部分はどこか、という課題は、今後、地域包括ケアの構築を目指す一環として、第1層コーディネーターを中心に展開される協議体等で話し合いを行っていく。

4 その他

- ・事務局より：今後の予定について

第3回は令和5年2月中旬頃に開催予定です。開催の1か月前頃に通知をします。

- ・委員から：特になし

5 閉会